

やまびこ

発行 地域療育相談室
広島市安芸区上郷野南
1丁目338-3
TEL (082) 894-8958
FAX (082) 894-0403
広島県安芸郡府中町青崎東
7-12
TEL (082) 282-6500
FAX (082) 282-4981

寒中お見舞い

申し上げます。

本年も、皆さまにとりまして、充実した年となりますよう祈念しております。

昨年は、自立支援法の本格施行に伴い、

政局もあたふたとしている印象を受け

ましたが、福祉新聞「やまびこ」は、こ

れからも「読んで気持ちが楽になる」、

「目からうろこ」をスローガンに、前述

していききたいと思っています。これから

もどうぞ宜しくお願い致します。

地域療育相談室スタッフ一同

子どもの気持ち

柏学園 金丸博一



中学二年生の子どもとお母さんの会話です。「ねえ、

もうすぐ期末テストがあるんでしょ。そろそろ試験

勉強を始めたほうがいいんじゃないの。」「わかつてる

よ。」「この前の成績よりは、上になるようにがんばっ

てよ。」「成績が上がったら何かいいことがある?」「またそ

んなふう言う!何のために勉強しているのかわかっ

ているの?」「自分のためっていうんでしょ。後で困る

のは僕だっていうんでしょ。」「そうそう!さあ早くや

りなさい。」「明日からがんばる!」「今日からがんばり

なさい!」「今日は無理!美術の授業でできなかったこ

とを仕上げなきゃいけない。」「はあ?美術?作品作り

なの?どうして授業中できなかったの?」「ポスター作

りなんだけど、あんな時間でできるわけないよ。」「あ

なたがグズグズしていたからじゃないの?他のみんな

はどうなの?」「結構できてなかった人はいたと思う。

〇〇君なんかもできてなかったよ。」「他には?」「...

忘れた!」「ほら、他の皆はできているでしょ!一人

いるだけでも、すぐほとんどの子がそうだったと言

るのはおかしいでしょ!」「...」「嘘をついてい

ると同じじゃない!」「...」「ポスターを描

くといつても、今度の試験には関係ないじゃないの。」「

「...」「あなたはいつもスローなんだから、早

く試験勉強始めないとだめじゃない。」「...」

「明日からはホントにがんばるのね!」「うん。」「でも明日になったら、またやらなきゃいけないことが他にでてくるんじゃないの!」「...」「何か言うことないの?黙ってばかりじゃない!」「(口ごもってブツブツ)」「えっ?何?はつきり言いなさい。」「(もう一回、口ごもってブツブツ)」「何?聞こえないでしょ!」...

ありがちな会話でしょ(ご)お母さんが、キレそうになつてきています。いつもさつきとやってくれない、このままではうちの子って大丈夫なのかしら、といった積年の想い(?)からも出てきた言葉なのではない。お母さんの気持ちはわかります。

ところがこの会話って、途中から会話になつてないのが、よくわかりますよね。答えようもないことを聞かれ、何とか言つたらどうなの?では子どももつらいでしょう。一休子どもに何を言わせたいの?という感じもします。まあ、「成績が上がったら何かいいことがある?」と言ってしまったことが、お母さんの気持ちを逆なでしてしまつたことは間違いないようです。余計なこと言わないようにすると、相手を逆なでしてしまふ言い方に気を付けていく事とか、その場の空気を読むといったことの練習にはなつていそうですが、結果的には、子どもの方は試験勉強をやる気にならないでしょう。それどころか、やる気が失せてしまふそうです。「今日は無理!」「できるわけないよ。」「忘れた!」という言い方からして、子どもの方はお母さんを怖がっていないようですし、その生意気な言い方にもお母さんはカチンときてしまうようにも思います。腹の立つ言い方を親にしてしまうのは、子どもなりの愛情表現でもありま





すから、あまり気にすることはないのですが…

さて、この話でのお母さんは、何を伝えたかったのでしょうか？成績が上がってほしい？目的に向かって早く準備してほしい？いつも取り掛かりが悪いことを、改めてほしい？この前の成績では、よろしくない事を自覚してほしい？来年は受験生となることを、意識してほしい？・・・そのうちのどれかになるのかもしれないし、どれも少しずつ感じていることかもしれないし、他にも理由があるかもしれません。いずれにしても、「ねえ、もうすぐ期末テストがあるんでしょ。そろそろ試験勉強を始めたほうがいいんじゃないの。」というお母さんの最初の言葉は、会話の後半にはどこかに飛んでいっています。お子さんの答え方一つに、振り回されています。子どもの言葉一つ一つを、しっかりと受け止めていくことは大切なことなのでしょうが、一つ一つに反応しすぎると、このような会話になってしまいがちです。



小学一年生の女の子(学校の名札を付けていた)とお母さんのスーバーの中の会話です。「お母さん、今日は何食べるの？」「晩御飯のこと？何が食べた？」「えーつとね、なんかおいしいもの。」「何？お肉？おさかな？お鍋もいーかな。」「えーつとね、何でもいー！」「何でもいーって言っても、この前は決めた後に、やっぱり嫌だって言ったじゃない。」「だってわかんないんだもん。」「じゃあ、お母さんが決めるよ！」「いいよ！・・・ねえお母さん！買い物したら、どこ行くの？」「どこって、帰るよ。」「文具房を見ている？」「ちよつとだったらいいよ。」「文

房具を見たら？」「だから帰るの！」「どうして？」

「帰って、晩御飯を作らなくてはいけません。」「ねえ、カードは？」(流行りのカードゲームのこと)「昨日やったじゃない。」「今日もしたい。」「このゲームはいつも並んでいるから、お母さんイヤー！」「・・・」「大変なのよ、待つのもつらー！」「・・・」「ゲームをやるために、買い物に来たんじゃないのよ！」「・・・」「やりたいのだったら、行く前に言えよ。帰ってからご飯の支度して、洗濯物を入れて、アイロンかけたりして、ね！大変なのよ。」「だって！」「わかっているの？毎日毎日あなたのゲームに付き合っているさいです！」「・・・」「だってって、何よ。」「・・・」「大体、うちには毎日カードゲームをやってあげるほどのお金はありません。いつも言っているじゃない！」

ひゃー、お母さんの機関銃が止まりません！二人の中に入ってきた気分です。天下の宝刀、「うちにはお金はありません！」攻撃まで出てきました。「忙しいのよ！大変なのよ！わかってんの？」攻撃(私は勝手に、この攻撃を「I・T・W攻撃」と頭文字を取って名付けています。)にも、何とも太刀打ちできません。プロレスを知っていらっしゃる方にしかわからないのですが、「DDT」みたいなものです！(何のことかわからない方は、お近くのおっちゃんに尋ねてみて下さい。)

そう言えば、学校の先生にこの攻撃を使う方がいらつしやいました。保護者の方が、お子さんのクラスメイトとのトラブルについて担任に相談したところ、

「お母さんのお気持ちは分かります。できるだけのこととはやっていきたいのですが、他に手のかかる子が何人もいますし、同様な相談はよく受けております。ですから、私も忙しいのです。毎日大変なのです。ご理解ください！」という話になったとのこと。まさしくこれは「I・T・W攻撃」です。特に、こうしてくれ！と頼んだわけではないのに、いきなりそういう話を聞かされたようです。それ以上何を伝えていけばいいのか、すっかりこのお母さんは困られたようです。「I・T・W攻撃」には、何も言い返す氣力をなくす効果があるのです！

さて、このスーバーでの会話は、読んでみると、女の子の気持ちが手にとるように、理解できると思います。カードゲームをしたことを、初めから伝えたかったのですよね。遠まわしに晩御飯の話題から入り、彼女なりにお母さんの機嫌を伺いながら、ゲームをしたいことを伝えました。ホントに健気で、素敵なお嬢さんです。かわいらしく、氣遣いのできる女の子です。これだけの会話のできる子ですから、もう何の心配もありません。立派に育っていくことでしょう。大きくなったら、どんな仕事でもこなしていけそうです！なんて、オーバーかな(;)「えーつとね、なんかおいしいもの。」と言ったのは、食べたいものを決められなくて言ったのではなく、おそろく機嫌取りだったのでしょうか。「お母さんが好きなものでいいよ。」なんて、さらに気の利いたことを言えるようになると、良いかもしれませんね。

一方、ここでお母さんといったら、ちよつとお疲れ気味ですよ。昨夜、夫婦喧嘩でもしたのかしらと





感じてしまうような口ぶりです。まあ、こんな日もあるでしょう。こんなお母さんの態度も、日によってはあると学習していくことは、子どもにとってはりっぱな社会経験です。ですから、この会話でのお母さんの対応を、責めるつもりは全くありません。ただ普通のよくある会話ではありますが、子どもの言葉一つ一つに、振り回されていることは、理解できません。「文房具を見たらあとはどうするの?」といった発言あたりから、子どもの気持ちに気づいて、「今日は、カードはしませんよ!」と先制攻撃しておけば、すんなり納得してくれたと思います。まあ、冷静に対応できる日には問題ないことなのですが、疲れていると、子どもに愚痴ってしまうことにもなります。疲れているも、柔軟に子どもの言葉を受け止めていくことはできません。さつと答えるのではなく、間をおいてゆっくりと言葉を返すようにすれば、随分と違ってきます。「へえー」とか、「ふうーん」とかを会話に挟んでいくだけでも、会話のリズムが違ってきますので、有効なことがあるかと思えます。(へえーふうーんの法則)

少々くだけた書き方になってしまいましたが、では次の会話を読んでみてください。

「今日は、学校でブランコに乗りましたか?」「ハイ。」「良かったね。お母さんはね、ダンスに行ったよ。」「ハイ。」「ダンスでね、こうやってー、こうやってー踊ったよ。上手?」「ハアアア。」「今日の給食は、カレーだったね。」「ハイ。」「おいしかったでしょ。」「ハイ。」「おかわりできたの?」「ハイ。」「お母さんはね、お友達とお昼ご飯食べたよ。スパゲティとサラダとア



イスだったよ。いいでしょ。」「アイスはね、チョコのアイスでね、甘かったよお!」「ハイ。」「おやつ食べる?」「ハイ。」「チョコにする?ポテトチップにする?」「ハイ。」「どっちがいいかな?」「どっち?それともこっち?」「ハイ。」「じゃあこっちね。はいどうぞ!」「ハアアア。」「あら、これはどうするの?あつ、お母さんのね。」「それじゃ、ここにしておこうね。」「ハアアア。」「それじゃ、ここにしておこうね。」「ハアアア。」「わかった!お父さんのお茶碗に入れておこうか?」「ハアアア。」「こっちに入れておくれよ。」「ハアアア。」「OK!お父さん喜ぶよ。良かったね。」「ハイ。」「ハアアア。」「はい、内容は。」



「ハイ。」「ばかりの反応の子ともですが、割とよくかみ合った会話でしょ。質問ばかりでなくて、お母さんの今日の一日をしつかり伝えているところが、ステキでしょ。きちんとギブアンドテイクになっています。また、抽象的な言葉がほとんどなくて、わかり易い言葉を使っているところもいい感じですよ。ジェスチャーも入っている感じが、子どもに言葉が伝わっているのかを確かめながら、話をしています。一方的でないですよ。二人の笑顔が眼に浮かぶようです。」

お友達とお昼を共にしたお母さんは、ホントにご機嫌です。いいことがあると、余裕を持って子どもと向き合えるのでしょね。たかさんの「いいこと」に出会っていききたいものですし、探していったら、必ず「いいこと」には出会えるはずですよ。お金がない?もう年だ?疲れる?そんなことはありません!何かを見

つめたり、耳をすましたりするだけで変化は訪れます。五感をもう少し活かしてみるとよいと思います。時間に流されずに、感じていくことを大切にすることができたなら、きつと成長し続けるのでしょし、前向きな自分を見つげられることではしょ。・・・とは思うけどね、まっ、あせらない、あせらない!結果をすぐに求めない!

寒い日が続きますが、風邪など召されぬようお気を付け下さいませ。

★サタデーチャット(小学生対象)
柏学園からのお知らせ

☆二月三日(土) 一・二年生グループ

☆三月三日(土) 三〜六年生グループ

(時間) 午後二時〜四時

※参加希望の方は前日までにお電話ください!

瀬野キャンパスからのマ、挨拶

旧年中はご支援・ご協力頂き、有難うございました。平成十八年度の行事は終了しましたが、また次年度も色々企画していきたいと思っておりますので、これからもう、利用下さい。

編集後記

箱根駅伝「一瞬にのみりましたか?選手がひたむきに走り、それに涙なくしては語れないドラマが有り...」あつあつって素晴らしい!いやいや、まだまだ若い者には負けられませぬ。今年も皆さんと一緒に成長したい。担当です。三口ツツ!

